

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

## 1. 参加者

1班：井谷（L）、山本、大川

## 2. 山城／ルート

屏風岩 雲稜ルート

## 3. 交通手段

車

## 4. 行動記録

<入山日 22年5月27日。 下山日 22年5月29日>

- 1日目 12:00 上高地→14:30 横尾→渡渉場所偵察 横尾（テント泊）、  
2日目 6:00 横尾出発→8:40 T4尾根登攀開始→14:40 雲稜ルート5ピッチ目終了→  
雲稜ルート懸垂下降3ピッチ→T4尾根懸垂下降4ピッチ→雪渓下り、渡渉→  
19:45 横尾（テント泊）  
3日目 7:00 横尾出発→10:00 上高地着

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

2日目は朝5時ごろまで小雨が降ったので、4時出発予定を6時出発に変更した。  
雲稜ルートはほぼ乾いており、登攀に支障はなかった。

### b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

・T4尾根1ピッチ目登攀中にアブミを落とした。アブミは取り付け点の岩と雪渓間のクレパスに落ち、回収することができなくなった。

### c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・自然の落石が多く発生した。経験者によるとこの時期雪解けもあり秋よりは落石が多いとのこと。垂壁を数百メートル落下する落石はもの凄いい風切り音を鳴らし、落下時には火花がでた。

・T4尾根、雲稜ルート5ピッチで6時間、懸垂下降開始から横尾まで5時間と時間を要した。

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

数年前、天気の関係で流れた屏風岩に行ってきました。前日から1日目の午前にかけてかなりの雨が降ったので車から見る道中の川は濁流になっており、渡渉が心配されましたが、1日目に下見をしたところ、釣りで利用するウェーダーを使うと何とか渡渉することができました。なかったら腰まで濡れるところだったので助かりました。今回、T4尾根で4回ロープを出して登攀、雲稜ルートは5ピッチまで登攀することができました。一部、アブミによる人口登攀がありましたが3人の完全つるべで登り切ることができました。達成感抜群の山行になりました。高度感たっぷりの景色もよかったです。

## 【感想：山本】

潤沢に行く途中に屏風岩を左手に見ますが、こんな場所をクライミングで登ることは、神戸労山に入るまでは考えたこともなかった。この時期にはまず、渡渉とアイゼンでの雪渓歩きがあるので、なかなかバリエーションに飛んだ内容。T4を登り雲稜ルート1Pに来た際には、目の前に写真でよく見るコーナーを左上するクラックエリアが見えていた。2Pは大きく右上するのだが思っていたよりも右へ行く為、ルーフアイが難しい。3P目はアブミルート。古いリングボルトに身を預けるのは、気持ちの悪いものです。4Pは少し直上したのち右へトラバースしますが、足元もスタンスが悪く嫌な緊張感。5Pは薄いルンゼの湿気た苔コケルート。あと2Pを残し今回は終わり。もともと残りのルートは懸垂の関係から範囲外でしたので、想定通りで完了。

前日夜半から登攀当日の朝には雨が降っていたため、今回は終わったと思いましたが、案外、岩の渴きも早く登攀出来たことは良かった。今回は神戸労山からも1パーティとその友人の1パーティで、仲間内3パーティのみが、雲稜ルートに取付いていた。結果我々のスピードが遅く、他パーティには申し訳なかった。多分もっとシーズンが良くなると渋滞敗退になる可能性があると思われる。この時期は取付きパーティが少なくても良いが、落石が多くなかなか危険なエリア。ヒヤリハットにも記載があるがもう少しで誰かに直撃してもおかしくない落石があった。人が少ない利点と、落石のリスクを考慮すると行く時期の選定が難しいエリアだと思う。最後に一緒に同伴いただいた、井谷さん、大川さんには感謝です。

報告者氏名 井谷竜治

22年5月31日